

NTT ドコモと SK テレコムが、モバイルネットワークの省電力化、 および 6G の要求条件に関するホワイトペーパーを公開 ～5G Evolution および 6G の実現に向けて技術協力～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、韓国を代表する通信事業者である SK テレコム社（以下、SKT）との技術協力[※]における最初の成果として、モバイルネットワークの省電力化とその関連技術、および 6G の要求条件に関するホワイトペーパーを 2 社で共同制作し、2023 年 2 月 22 日（水）に公開しました。

ドコモと SKT は、2022 年 11 月に基本合意書を締結[※]し、次世代通信インフラ技術分野において 5G Evolution および 6G に関わる技術協力の検討を進めています。

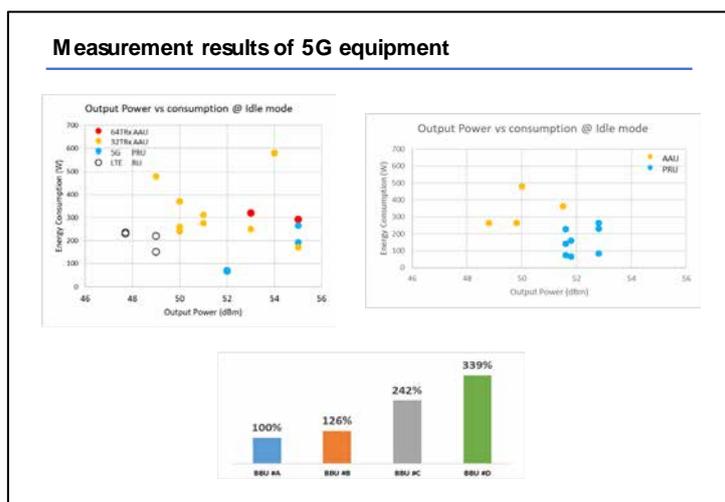
●モバイルネットワークにおける省電力化の実現に関するホワイトペーパーについて

両社の基地局装置の消費電力の測定結果に基づき、さらなる省電力化の必要性や関連技術に関する幅広い考察を行い、通信事業者と装置製造ベンダーが協調した取り組みを続けることの重要性を訴えています。

<主な内容>

- ・ 両社の基地局装置の消費電力の測定結果に基づき、省電力化への改善の余地があることを裏付け
- ・ 省電力化を実現する候補技術について、ハードウェアとソフトウェアの側面などから、技術的な分析を実施
- ・ 省電力化に向けて、通信事業者と装置製造ベンダーが果たすべき役割を示し、より一層の協調を呼びかけ

[モバイルネットワークにおける省電力化の実現とその関連技術に関するホワイトペーパーへのリンク](#)



モバイルネットワークにおける基地局装置の消費電力測定結果

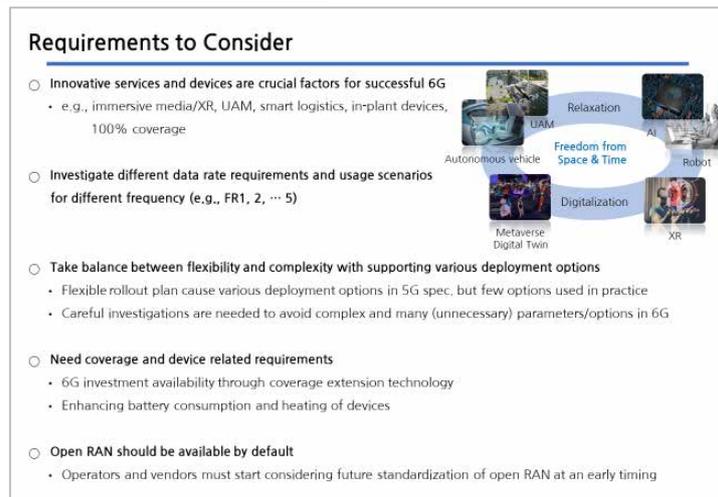
●6G の要求条件に関するホワイトペーパーについて

両社がモバイル通信事業者として特に重要と考える技術テーマについて、具体的な性能値や実装シナリオに踏み込み 6G の要求条件と課題をまとめています。

<主な内容>

- ・ 周波数特性を考慮した周波数帯ごとの性能要件や実装シナリオの分析、考察を実施
- ・ 高周波帯での通信におけるカバレッジやデバイス観点での課題を提起
- ・ 6G アーキテクチャへのマイグレーションやクラウドネイティブ・オープンアーキテクチャの適用に向けた標準化の方向性を提言

[6G の要求条件に関するホワイトペーパーへのリンク](#)



6G の要求条件に関する技術テーマ

ドコモと SKT は 5G Evolution および 6G の実現に向けて、5G のさらなる競争力強化や運用効率化、6G の国際的な標準化活動や技術検証などさまざまな分野で技術協力を進めています。今後も各国の通信事業者と協調して6Gの標準化・研究開発を主導し、未来産業・技術を含めたグローバルなエコシステムの構築をめざします。

SKT インフラテック室長のタッキー・ユー氏は、次のように述べています。「今回のホワイトペーパーは、昨年 NTT ドコモと戦略的パートナーシップを締結して以来、初めての具体的な成果であるため、より一層意義深いものとなっています。我々の 5G の経験とノウハウを基に、NTT ドコモのような世界をリードする事業者と、5G の高度化と 6G への進化へと連携を継続していきます。」

ドコモ チーフテクノロジーアーキテクト 中村 武宏は、次のように述べています。「2022 年 11 月に開始した SKT との技術協力の成果として、モバイルネットワークの省電力化と 6G 要求条件のホワイトペーパーを共同で発表できることを喜ばしく思います。今後もアジアの 2 大モバイル事業者同士の連携を深め、6G の実現に向けて優れたコンセプトや革新的な技術を世界に発信していきたいと思ひます。」

※ 報道発表資料：メタバース、デジタルメディア分野および 5G evolution、6G の技術分野における協力に向けて SK テレコム社と基本合意（2022 年 11 月 21 日）

https://www.docomo.ne.jp/info/news_release/2022/11/21_00.html

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

【モバイルネットワークにおける省電力化について】
株式会社 NTT ドコモ 無線アクセス開発部
ran-dev-energy-saving@ml.nttdocomo.com

【6Gの要求条件について】
株式会社 NTT ドコモ 6G-IOWN 推進部
6gi-strategy@ml.nttdocomo.com